

■ 市長懇談会 ■

「市長と語ろう～ どう使いますか？ みんなの予算～」

市の自主事業の主なもの



## 市の自主事業の主なもの

法律などにより実施が義務付けられているものでなく、市の判断で行っている取り組み（事業）の主なものは、以下のとおりです。

各取り組み（事業）の概要を3ページから15ページに記載しています。

また、高齢者関連の取り組み（事業）の参考資料を16ページから27ページに記載しています。

### 1 健康・福祉分野

※太枠内が高齢者に特に関わりの深い取り組み

No.	取り組み	H24市負担額(予算)	概要	参考
1	高齢者への優待乗車証の交付	1億6,867万円	P3	P16
2	高齢者ふれあい入浴への助成	2,750万円	P3	P19
3	敬老金の支給	2,296万円	P3	P20
4	敬老会の開催	1,865万円	P3	P21
5	高年クラブへの支援	1,169万円	P4	P22
6	高齢者のはり・灸・マッサージ施術への助成	1,032万円	P4	P24
7	高齢者肺炎球菌予防接種への助成	664万円	P4	P25
8	高齢者配食モデル事業の実施	615万円	P4	-
9	がん検診費用の助成	2億2,791万円	P5	-
10	幼稚園の教室を活用した保育所分園の開設	3,000万円	P5	-
11	認可保育所の巡回警備	1,940万円	P5	-
12	木の根学園ひまわり工房・たんぽぽ工房の定員増	870万円	P5	
13	ふれあいフェスティバルの開催	400万円	P6	-
14	がんの在宅療養体制の整備	254万円	P6	-

### 2 教育・文化分野

No.	取り組み	H24市負担額(予算)	概要
15	学校等への警備員配置	1億2,308万円	P7
16	中学校給食導入に向けた準備	1,877万円	P7
17	地域ぐるみの子どもの安全対策の推進	800万円	P7
18	文化財の保護と活用の推進	781万円	P8
19	市民図書館の開設準備	541万円	P8
20	明石薪能（たきぎのう）の開催	500万円	P8

### 3 産業・観光分野

No.	取り組み	H24市負担額(予算)	概要
21	アスパア明石駐車場の管理運営支援	7,726万円	P9
22	漁業協同組合への支援	5,930万円	P9
23	ため池の防災対策の推進	2,580万円	P9
24	商店街活性化への助成	1,700万円	P9
25	住宅リフォームへの助成	1,000万円	P9
26	明石製品のブランド化	900万円	P10
27	B-1グランプリの誘致	200万円	P10

### 4 生活・環境分野

No.	取り組み	H24市負担額(予算)	概要
28	協働のまちづくりの推進	7,418万円	P11
29	コミュニティ活動の推進	5,745万円	P11
30	再生資源集団回収への助成	4,020万円	P11
31	太陽光発電設備設置への助成	1,300万円	P12
32	人権意識の啓発	882万円	P12
33	災害用備蓄物資の充実	200万円	P12
34	ハザードマップの修正・配布	150万円	P12

### 5 都市基盤整備分野

No.	取り組み	H24市負担額(予算)	概要
35	道路の整備	7億4,519万円	P13
36	市営住宅の建て替え	5億5,088万円	P13
37	コミュニティバス(たこバス)の運行助成	1億7,626万円	P13
38	菊花展の開催、菊栽培の普及	1,727万円	P14
39	公園の整備	1,300万円	P14
40	公共交通の利用促進	975万円	P14
41	住宅の耐震化の推進	609万円	P15

# 1 健康・福祉分野

< >内の数字は平成24年度の市負担額(予算)

## 1 高齢者への優待乗車証の交付 <1億6,867万円>

高齢者関連

参考P16

高齢者の社会参加を促進し、交流を通じて生きがいを創造するため、70歳以上の市民にバスとタクシーの優待乗車証を交付する。

- ①バス優待乗車証：市内を運行する路線バス1乗車100円で利用可  
コミュニティバス1乗車50円で利用可

	H21年度	H22年度	H23年度
交付人数	33,189人	34,327人	35,751人
市負担額(実績)	7,553万円	7,553万円	7,553万円

※市負担額は、平成20年度利用者数調査に基づき、バス運行事業者との平成21年度～平成23年度(3ヶ年)協定で決定

- ②寿タクシー券：2,100円分(1枚500円の利用券4枚と100円の利用券1枚を配付)

	H21年度	H22年度	H23年度
交付人数	36,056人	37,464人	39,169人
利用枚数	92,533枚	100,143枚	104,617枚
市負担額(実績)	4,627万円	5,007万円	5,230万円

## 2 高齢者のふれあい入浴への助成 <2,750万円>

高齢者関連

参考P19

高齢者の健康増進や外出の促進、近隣とのふれあいを図るため、65歳以上の市民を対象に、市内の公衆浴場等の無料・割引開放を実施する。

- ①高年手帳の提示により、毎週木曜日に無料入浴(龍の湯のみ300円割引)(実施場所：明石市内の8浴場)  
②利用件数に応じて、市から公衆浴場等に一定額を支払う。

	H21年度	H22年度	H23年度
年間延べ利用者数	55,511人	76,695人	78,786人
市負担額(実績)	1,928万円	2,649万円	2,712万円

## 3 敬老金の支給 <2,296万円>

高齢者関連

参考P20

敬老の意を表すとともに、高齢者の見守りなどの効果を目的に、民生児童委員が対象となる高齢者を訪問し、敬老金を手渡す。

対象年齢	1人当たり支給・	実績		
		H21年度	H22年度	H23年度
77歳	5,000円	2,407人	2,466人	2,402人
88歳	10,000円	653人	744人	768人
100歳	30,000円	33人	23人	30人
計		3,093人	3,233人	3,200人
市負担額(実績)		1,956万円	2,046万円	2,059万円

## 4 敬老会の開催 <1,865万円>

高齢者関連

参考P21

敬老の意を表し長寿を祝福するため、自治会等を中心とする各小学校区の実行委員会に委託して敬老会を開催する。

- ①対象者：75歳以上の市民  
②委託単価：対象者1人につき500円、小学校区1校区につき10万円

	H21年度	H22年度	H23年度
対象者数	26,028人	27,023人	28,437人
参加者数	5,514人	6,139人	5,935人
市負担額(実績)	1,594万円	1,652万円	1,720万円

# 1 健康・福祉分野

< >内の数字は平成24年度の市負担額(予算)

## 5 高年クラブへの支援 <1,169万円>

高齢者関連

参考P22

高齢者地域ボランティアや高齢者地域スポーツの推進等を図るため、高年クラブに事業の委託や助成を行い小学校区全体での高年クラブ活動を促進する。

### ①高齢者地域活動推進事業

高齢者の地域活動の推進を高年クラブ連合会に委託等（委託料は、年間260万円）

### ②老人クラブ助成事業

適合クラブ(30人以上)：年96,000円（国・県・市がそれぞれ1/3ずつ負担）

小規模クラブ(25人以上30人未満)：年24,000円（市が全額負担）

### ③高齢者スポーツ大会：小学校区ごとにチーム編成し、春・秋2回開催

（運営は高年クラブ連合会に委託。委託料は年間120万円）

	H21年度	H22年度	H23年度
高年クラブ会員数	12,056人	11,735人	11,471人
スポーツ大会参加者数	1,709人	2,062人	2,127人

## 6 高齢者のはり・灸・マッサージ施術への助成 <1,032万円>

高齢者関連

参考P24

高齢者の健康を保持し、外出を促すため、はり・灸・マッサージ施術助成券を希望する70歳以上の市民に交付する。助成券は明石市と契約している施術所（平成24年6月現在115箇所）で使用できる。

助成額：1枚1,000円の助成券を年間4枚配布

	H21年度	H22年度	H23年度
交付人数	4,211人	3,950人	3,947人
利用枚数	11,563枚	8,783枚	8,717枚
市負担額（実績）	1,156万円	878万円	872万円

## 7 高齢者肺炎球菌予防接種への助成 <664万円>

高齢者関連

参考P25

高齢者の肺炎の原因で最も多い「肺炎球菌」という細菌に対する予防接種で、肺炎による長期療養に伴う身体活動の低下や認知症を防ぐため、70歳以上の市民に対し3,500円の助成を行う。

	H21年度	H22年度	H23年度
対象者数	40,030人	41,308人	43,030人
接種者数	2,992人	1,762人	2,642人
市負担額（実績）	1,047万円	617万円	924万円

※平成21年度は、10月1日から事業開始

※対象者は接種済者を含む

※助成は生涯1回のみ。接種料金（7,000円～8,000円程度）との差額は自己負担

## 8 高齢者配食モデル事業の実施 <615万円>

H24 新規事業

高齢者関連

自ら食事を用意するのに支障のあるひとり暮らし高齢者等に対して、配食事業者が栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、安否を確認するなど、実施地域を限定し、効果的なサービス提供のあり方を検証するモデル事業を実施する。

①対象者：65歳以上のひとり暮らしで、身体的・精神的な機能の低下などにより、買物・炊事などが難しい高齢者

②実施地区：検討中

③実施方法：民間の配食事業者に委託し、自宅へ配食する。利用者は食材料費等の実費を負担する。

# 1 健康・福祉分野

< >内の数字は平成24年度の市負担額(予算)

## 9 がん検診費用の助成 <2億2,791万円>

職場等でがん検診を受ける機会のない方が多いことから、各種がんの早期発見、早期治療を促し、がん死亡率を低下させるため、各種がん検診の費用を助成する。

H23年度実績	1人当たり助成額	受診者負担額	受診者数	備考
①胃がん	9,312円	2,200円	5,825人	
②胸部(肺がん)	2,539円	700円	14,303人	X線のみの場合
③子宮がん	5,393円	1,400円	7,372人	頸部の場合
④乳がん	6,219円	2,800円	5,281人	40歳代の場合
⑤大腸がん	3,652円	800円	14,028人	

※大腸がんの平成24年度の助成額は3,085円

※子宮がんは20～40歳、乳がん及び大腸がんは40～60歳の5歳刻みの対象年齢の市民に対し、国の2分の1の補助を受け無料クーポンを送付。

## 10 幼稚園の教室を活用した保育所分園の開設 <3,000万円>

H24 新規事業

保育所の待機児童は3歳未満、また西明石地区と大久保地区に多い状況にあり、幼稚園の教室を有効活用し待機児童の解消を図るため、市立幼稚園の教室を改修し、私立保育所の分園を開設する。

①開設予定箇所：貴崎幼稚園、藤江幼稚園、高丘東幼稚園

	貴崎幼稚園	藤江幼稚園	高丘東幼稚園
入所見込み児童数	30人	30人	30人

## 11 認可保育所の巡回警備 <1,940万円>

市内の認可保育所（45か所）の乳幼児等の安全を確保するとともに、地域の子どもたちを守るため、警備員による巡回警備を行う。

①概要：市内を5ブロックに分け、ブロックごとに警備員1名を配置し、保育所警備及び保育所間の巡回警備を実施する。

②警備時間：日曜祝日及び年末年始を除く日の午前7時から午後7時まで。

	H21年度	H22年度	H23年度
市負担額(実績)	2,515万円	2,181万円	1,940万円

## 12 木の根学園ひまわり工房・たんぽぽ工房の定員増 <870万円>

H24 新規事業

重度者の生活介護サービスを充実させるため、事務所（管理）棟を建設し、ひまわり工房・たんぽぽ工房の事務所を移転集約することで、利用者支援スペースを拡張し、定員増を図る。

①リース契約内容

5年リースで、終了後は無償譲渡。月額リース料145万円（総額8,700万円）。

②入所計画

平成24～28年度で計20名増。両工房で総定員120名（現行100名）とする。

# 1 健康・福祉分野

< >内の数字は平成24年度の市負担額(予算)

## 13 ふれあいフェスティバルの開催 <400万円>

幅広い人々の交流や、健康と福祉についての理解と関心を深めることを目的とし、産業交流センターを会場に障害者団体や高齢者サークルなどによるステージ、障害者団体や事業所による授産物品の販売、作品展示などを行う「あかし☆ふれあいフェスティバル」を開催する。

※入場料：無料

	H21年度	H22年度	H23年度
参加者数	約2,300名	約2,500名	約2,400名
市負担額(実績)	334万円	337万円	299万円

## 14 がんの在宅療養体制の整備 <254万円>

がんの在宅療養体制の整備を図るため、平成23年6月に新設した、行政・医療機関等からなる「がん医療対策会議」で、訪問看護の提供力や病院・診療所等の連携体制の充実に向けて取り組みを進める。

また情報冊子の作成やフォーラムの開催により、がんの在宅療養について市民啓発を行う。



## 2 教育・文化分野

< >内の数字は平成24年度の市負担額(予算)

### 15 学校等への警備員配置 <1億2,308万円>

小学校、養護学校、幼稚園の児童、園児の校内及び登下校時等の安全を確保するため、警備員を配置する。

①警備の概要：全市立小学校（28校すべて幼稚園を併設）及び明石養護学校に各2名の警備員を配置し、校門付近での常駐警備及び校内外の巡回警備を実施する。

②警備時間等：午前7時45分から午後5時まで。年間で約200日。

	H21年度	H22年度	H23年度
市負担額（実績）	1億4,763万円	1億4,790万円	1億1,663万円

### 16 中学校給食導入に向けた準備 <1,877万円>

H24 新規事業

成長期にある中学生に栄養バランスのとれた昼食を提供するとともに、食事に関する正しい知識の習得などの食育を推進するため、市立中学校における給食導入に向けた準備を行う。

公募市民、学識者や学校関係者などで構成される検討委員会を開催し、給食実施方式や食育及び地産地消の推進、学校運営上の課題などの検討を行い、早期の給食実施を目指す。

### 17 地域ぐるみの子どもの安全対策の推進 <800万円>

子どもたちにとって安全・安心な環境を確保するため、「地域の子どもは地域で守り育てる」の趣旨のもと、地域ぐるみで子どもの安全対策を推進する。

①スクールガード活動の充実・推進

登下校時の通学路や学校園内での子どもの見守り活動を引き続き推進する。

②「子ども安全の日」（毎月15日）運動の推進

- ・スクールガード・PTA・教職員を対象に、地域安全マップ作成指導者養成講座を実施する。
- ・市関係施設にのぼりを立てるとともに、子どもの目線に立った安全・安心パトロールを行う。
- ・校門付近にのぼりを立てるとともに、学校施設の安全点検や登下校指導を行う。

	H21年度	H22年度	H23年度
市負担額（実績）	573万円	748万円	764万円

## 2 教育・文化分野

< >内の数字は平成24年度の市負担額(予算)

### 18 文化財の保護と活用の推進 <781万円>

市民の文化財に対する保護意識を高め、自ら住むまちへの愛着と誇りを深めるため、市内各所に点在する文化財を保護し、活用を図る。

- ① 地域ごとの文化財所在地図の作成と活用  
市内の地域ごとの文化財の所在を記した地図を作成し、これを活用した展示会、見学会等を開催する。
- ② 明石藩関連資料の調査・保護・公開  
寄贈を受けた旧明石藩主松平家伝来の調度品等や明石藩土黒田家関連資料について、調査・保護するとともに一般への公開を行う。
- ③ 発掘された明石の歴史展の開催  
市内の発掘調査で出土した資料を中心として、先人の暮らしぶりを知ってもらう機会として開催する。

	H21年度	H22年度	H23年度
市負担額(実績)	412万円	477万円	630万円

### 19 市民図書館の開設準備 <541万円>

**H24 新規事業**

開館時間の延長など利用者サービスを向上させるとともに、市民一人ひとりの生涯学習を支えるため、市立図書館を平成27年度に完成予定の明石駅前南再開発ビルへ移設し、近くて便利な新図書館の開設に向けた準備を行う。

- ①(仮称)市民図書館のあり方検討委員会の開催
  - ・構成：公募市民や学識者など
  - ・検討事項：新図書館の基本構想、サービス、施設レイアウトなど
- ②(仮称)市民図書館のあり方検討業務委託  
これからの図書館に求められる理念・機能・サービスの調査、新図書館の基本設計の提案などをコンサルタント会社に委託する。

### 20 明石薪能(たきぎのう)の開催 <500万円>

伝統文化に親しむ機会を広げるため、歴史と文化の薫り漂う明石のまちにふさわしい行事として、明石公園で薪能を開催する。

〔主催：明石薪能の会 共催：明石市、(財)兵庫県園芸・公園協会〕

	H21年度	H22年度	H23年度
入場料(一般) 〔上段前売・ 下段当日〕		2,500円/人 3,000円/人	
入場者数	約1,200人	約1,000人	約600人
開催費用総額	1,000万円	1,300万円	1,300万円
市負担額(実績)	200万円	500万円	500万円

### 3 産業・観光分野

< >内の数字は平成24年度の市負担額(予算)

#### 21 アスピア明石駐車場の管理運営支援 <7,726万円>

中心市街地の活性化に貢献するため、中心市街地全体の公共駐車場としての役割を担うアスピア明石の駐車場（明石地域振興開発(株)所有）の管理運営に対して支援を行う。

	H21年度	H22年度	H23年度
市負担額（実績）	1億2,347万円	1億1,930万円	1億1,742万円

#### 22 漁業協同組合への支援 <5,930万円>

水産業の経営の効率化と安定化を進めるため、機械・設備の更新や漁船保険などへの加入を奨励するための助成など、漁業協同組合への支援を行う

	H21年度	H22年度	H23年度
市負担額（実績）	4,972万円	5,633万円	4,177万円

#### 23 ため池の防災対策の推進 <2,580万円>

**H24 新規事業**

老朽化した農業用ため池において、農業用水の安定確保と地域の安全性を確保するため、緊急対応が必要な部分を改修し、ため池の貯留機能の向上と防災対策を推進する。

平成24年度分

- ・ 林(和坂)谷池整備工事：堤防の改修、緊急放流施設の整備
- ・ 山川下池、安政池整備工事：緊急放流施設の整備

	H21年度	H22年度	H23年度
ため池の災害発生件数	0件	0件	0件

#### 24 商店街活性化への助成 <1,700万円>

地域のにぎわいづくりと商店街の活性化を図るため、商店や商業団体に対して助成を行う。

（主な助成）

商店街に対し、地域のにぎわいにつながる集客イベントやPR等の経費の6割を助成

	H21年度	H22年度	H23年度
助成件数	17件	16件	16件
市負担額（実績）	1,645万円	1,434万円	1,420万円

#### 25 住宅リフォームへの助成 <1,000万円>

市民の消費を喚起し市内産業の活性化を図るため、自己所有し居住する住宅について、市内業者を利用して20万円以上のリフォーム(改修)を行った市民に、経費の10%（上限10万円）を助成する。

	H21年度	H22年度	H23年度
助成者数	196人	104人	106人
市負担額（実績）	1,595万円	778万円	851万円

※平成21年度は  
年2回募集

### 3 産業・観光分野

< >内の数字は平成24年度の市負担額(予算)

#### 26 明石製品のブランド化 <900万円>

H24 新規事業

京阪神の商業施設等において農水産物を中心とした明石物産展を開催し、消費者に対する食べ方の提案や新たな加工品の開発、観光PRを行う。

- ・場 所：京阪神の商業施設等
- ・時 期：平成24年6月下旬ほか
- ・関係者：農漁業生産者、農協、漁協、加工協、その他関係者

#### 27 B-1グランプリの誘致 <200万円>

H24 新規事業

まちのにぎわいづくりや活性化に効果大きいB-1グランプリの支部大会の誘致を目指す。

平成24年度の大会会場等で明石焼（玉子焼）を含めた明石の観光PRなどのプロモーション活動を行うほか、各種メディアを活用した誘致活動を行う。

## 4 生活・環境分野

< >内の数字は平成24年度の市負担額(予算)

### 28 協働のまちづくりの推進 <7,418万円>

「市民が主役」のまちづくりを推進するため、市民と市、市民同士が適切な役割分担のもとで連携し、まちづくりに取り組む小学校区単位での「協働のまちづくり」の仕組みを構築する。①、③は平成24年度からの新規事業である。

#### ① 中間支援組織の設置

地域活動や各種団体間の連携等を支援する中間支援組織を設置する。(明石コミュニティ創造協会の役割強化)

#### ② 市民活動団体との協働によるまちづくり

- ・市民提案型パイロット協働事業の実施(平成22年度に開始した事業)

	H22年度	H23年度
採択件数	4件	7件
市負担額(実績)	537万円	1,000万円

- ・市民とのパートナーシップ推進開放講座の実施(平成22年度に開始した事業)

	H22年度	H23年度
参加者数	260名	103名
市負担額(実績)	48万円	21万円

#### ③ 協働のまちづくりの仕組みと市民活動拠点の検討

地域課題の自主的解決に向けての協働のまちづくりの組織や仕組みのあり方、また市民活動拠点について検討する。

### 29 コミュニティ活動の推進 <5,745万円>

自治会・町内会への広報文書の配付、街路灯の管理協力、防災情報の連絡又は応急措置に対する委託料を支払うことにより、自治会活動を側面から支援する。

※委託料として支給する(476自治会)

- ・均等割 1団体 10,000円
- ・世帯割 1世帯 550円

### 30 再生資源集団回収への助成 <4,020万円>

資源の有効活用やごみ減量意識の普及のため、家庭から排出される再生資源の集団回収を行う子ども会などの団体や再生資源回収業者に助成を行う。

集団回収活動団体への助成

#### ① 再生資源(紙類、布類、金属類、ビン類)回収への助成

	H21年度	H22年度	H23年度
助成団体数	454団体	454団体	450団体
回収量	8,998t	8,738t	8,672t
市負担額(実績)	3,599万円	3,495万円	3,469万円

(回収量1kg当たり4円を助成)

#### ② 活動用具の助成

消耗品(紙ひも、ポリ袋、軍手等)、備品(台車、物置等)

	H21年度	H22年度	H23年度
助成件数	422件	421件	411件
市負担額(実績)	183万円	238万円	169万円

紙類・布類の分別収集収益金

	H21年度	H22年度	H23年度
回収量	4,224t	3,267t	3,201t
市収益金額(実績)	611万円	2,983万円	4,300万円

※平成24年度の市収益金額は2,300万円の見込み

## 4 生活・環境分野

< >内の数字は平成24年度の市負担額(予算)

### 31 太陽光発電設備設置への助成 <1,300万円>

地球温暖化対策として、市内における住宅用太陽光発電設備の普及を促すため、個人住宅に設置する市民に助成を行う。

#### ①助成額

- ・請負業者が市内業者の場合 4万円/kW (上限12万円)
- ・請負業者が市外業者の場合 2万円/kW (上限6万円)

#### ②助成実績 (平成22年度に開始した事業)

	H22年度	H23年度
助成件数	174件	174件
市負担額 (実績)	1,300万円	1,266万円

### 32 人権意識の啓発 <882万円>

人権に関する正しい理解を広め、だれもが暮らしやすい共生社会を築くため、啓発活動や体験・交流活動などを行う。

#### ①人権フェスティバルの開催〔8月に実施〕

	H21年度	H22年度	H23年度
参加者数	1,000人	1,000人	1,000人
市負担額 (実績)	101万円	109万円	0万円

※平成23年度は兵庫県中央大会として実施したため市負担額は0となっている。

#### ②人権の集いの開催〔12月に実施〕

	H21年度	H22年度	H23年度
参加者数	700人	600人	1,000人
市負担額 (実績)	45万円	32万円	81万円

- ③人権啓発のための冊子、カレンダーなどを作成し、自治会研修などで活用するとともに、各小・中学校、幼稚園などに配布  
作成部数：冊子20,000部、カレンダー5,000部

- ④人権大学講座・人権文化教室の実施 など

### 33 災害用備蓄物資の充実 <200万円>

**H24 新規事業**

東日本大震災を教訓に、発災直後に特に必要とされた日用品、衛生用品等の物資を新たに購入し、備蓄物資の充実を図る。

これまでの備蓄物資の購入費用に、平成24年度から以下のような物資の購入費用として200万円を上積みする。

#### ※購入予定物資

高齢者用備蓄食糧 (おかゆタイプ)、紙おむつ (大人用・子ども用)、避難所間仕切り など

### 34 ハザードマップの修正・配布 <150万円>

東日本大震災を受けた国の地震被害想定の見直し結果が示された場合に、必要に応じてハザードマップを修正し、全戸配布する。

## 5 都市基盤整備分野

< >内の数字は平成24年度の市負担額(予算)

### 35 道路の整備 <7億4,519万円>

交通渋滞の解消など道路交通機能の強化、交通安全対策、良好な生活環境の構築、市街地の活性化などのため、幹線道路や生活道路の整備をはじめ、市街地道路のリニューアル、踏切道の安全対策など、各種の道路整備を行う。

平成24年度の主な事業

- ・ 幹線道路の整備（魚住2号線、山手環状線、八木松陰線）
- ・ 生活道路の整備（狭あい道路の整備20箇所、隅切整備3箇所、グリーン舗装3地区）
- ・ 観光道路をはじめとする中心市街地の道路のリニューアル
- ・ 朝霧駅前広場のリニューアル
- ・ 魚住25号線道路改良事業（JR猪之方谷第一踏切の拡幅）

	H21年度	H22年度	H23年度
市負担額（実績）	10億677万円	4億4,672万円	5億8,574万円

### 36 市営住宅の建て替え <5億5,088万円>

住宅困窮者の生活の安定に寄与するとともに、入居者等の安全を図るため、老朽化している市営住宅について、既存の住宅を集約し、建て替えを行う。

平成24年度の主な事業

- ①大窪南住宅  
新12号棟の建設工事に着手する。（築41年）
- ②西二見小池住宅（第2期工事）  
2号棟の建設工事を完了する。（築46年）

	H21年度	H22年度	H23年度
市負担額（実績）	8,430万円	5億5,269万円	1億651万円

### 37 コミュニティバス(たこバス)の運行助成 <1億7,626万円>

公共交通が不便な地域において、日常生活に最低限必要な移動手段を確保するため、コミュニティバス(たこバス)の運行助成を行う。

- ①路線数：16路線（西明石以西）
- ②運賃：大人100円、小人50円

	H21年度	H22年度	H23年度
利用者数	78万人	87万人	92万人
市負担額（実績）	2億30万円	1億9,066万円	1億8,299万円

※市負担額の考え方：運行経費から料金収入を差し引いた金額を運行事業者に支払う。ただし、市負担額に対して特別交付税の措置を受けている。

※平成24年度、年間利用者100万人を目指す。

## 5 都市基盤整備分野

< >内の数字は平成24年度の市負担額(予算)

### 38 菊花展の開催、菊栽培の普及 <1,727万円>

市の花である菊花の普及と栽培技術の向上を通じて、緑豊かなまちづくりや生きがいづくりを進めるとともに、郷土愛を醸成し観光客を誘引するため、菊花展覧会の開催や菊花栽培場の管理運営などを行う。

①明石公園で菊花展覧会を開催：1,387万円

主催：兵庫県、明石市 期間：10月下旬から約3週間

平成23年度：出品者102名、出品点数327点、来場者数182,500人

②明石公園内の菊花栽培場の管理運営を民間会社に委託：253万円

③菊花栽培教室の開催などその他関連費用：138万円

種類	小品盆栽	懸崖菊	大菊	福助菊
開催回数	7回	2回	3回	2回
参加者数	50人	30人	30人	30人

	H21年度	H22年度	H23年度
市負担額(実績)	1,670万円	1,703万円	1,744万円

### 39 公園の整備 <1,300万円>

H24 新規事業

都市環境保全や景観形成、防災機能向上に寄与するとともに、地域のコミュニティ形成の場となる公園の整備を進める。

①和坂公園

平成24年度：実施設計に向けた測量を実施。(面積：約2,500㎡)

②(仮称)朝霧南公園

平成24年度：整備工事を実施。(面積：約1,100㎡)

### 40 公共交通の利用促進 <975万円>

平成24年3月の市バスの民間移譲について、新設や増設されたバス路線を中心に、利用促進の取り組みを実施するとともに、市バス移譲の検証などを実施する。

- ・路線バスの利用実態を調査し、市域全体の今後のバスネットワークの改善点等を把握するとともに、路線移譲の評価などを行う。
- ・市バスの移譲路線等について、事業者と連携し、利用促進を実施する。



## 5 都市基盤整備分野

< >内の数字は平成24年度の市負担額(予算)

### 41 住宅の耐震化の推進 <609万円>

住宅の所有者に対し、耐震診断技術者の派遣による耐震診断や、耐震改修工事の経費の一部補助、耐震改修工事の重要性の啓発を行う。

#### ①簡易耐震診断に要する費用の助成

木造戸建て住宅 30,000円/棟

(内訳：国補助15,000円、県補助6,750円、市補助8,250円)

鉄筋コンクリート造共同住宅 200,000円/棟

(内訳：国補助100,000円、県補助45,000円、市補助55,000円)

	H21年度	H22年度	H23年度
助成件数	95件	60件	97件
助成額(実績)	532万円	222万円	460万円

#### ②耐震改修工事費への補助

兵庫県主体の「わが家の耐震改修促進事業」に、市独自に工事費の一部を上乗せして補助。

(助成内容：県補助1/4、県基金1/4、市独自補助1/8) ※いずれも上限額あり

	H21年度	H22年度	H23年度
助成件数	31件	14件	33件
助成額(実績)	601万円	371万円	816万円

#### ③啓発事業の実施

- ・平成24年度耐震・リフォームセミナー〔時期：10月、対象：200名〕
- ・住宅耐震改修現場見学会〔時期：11月、対象：15名〕
- ・啓発用チラシやポスターの作成など

## **高齢者関連の取り組み（参考資料）**



## 1 高齢者への優待乗車証の交付 <1億6,867万円>

### 概要

高齢者の社会参加を促進し、交流を通じて生きがいを創造するため、70歳以上の市民にバスとタクシーの優待乗車証を交付する。

- ①バス優待乗車証：市内を運行する路線バス1乗車100円で利用可  
コミュニティバス1乗車50円で利用可

	H21年度	H22年度	H23年度
交付人数	33,189人	34,327人	35,751人
市負担額(実績)	7,553万円	7,553万円	7,553万円

※市負担額は、平成20年度利用者数調査に基づき、バス運行事業者との平成21年度～平成23年度(3ヶ年)協定で決定

- ②寿タクシー券：2,100円分(1枚500円の利用券4枚と100円の利用券1枚を配付)

	H21年度	H22年度	H23年度
交付人数	36,056人	37,464人	39,169人
利用枚数	92,533枚	100,143枚	104,617枚
市負担額(実績)	4,627万円	5,007万円	5,230万円

### 内容

#### (1)制度内容 (昭和45年度創設)

- ①対象者：1月1日現在市内在住で、3月31日に70歳以上の市民
- ②事業内容：下記の2点を対象者に郵送。
- ・バス優待乗車証  
明石市内を運行する神姫バス、山陽バスに1乗車につき現金100円、コミュニティバス(たこバス)は1乗車につき現金50円で利用できる乗車証
  - ・寿タクシー券(2,100円相当)  
明石地区タクシー協会加盟のタクシーに利用できるタクシー券

#### ③制度の変遷

時期	変更内容
昭和45年	・77歳以上の市民を対象に市バス無料乗車証を交付
昭和47年	・対象年齢を <u>75歳以上</u> に引き下げ
昭和59年11月	・対象年齢を <u>73歳以上</u> に引き下げ
平成元年	・市バス無料乗車証、 <u>神姫バス回数券</u> 、 <u>山陽電車回数券</u> のいずれか1種類を選択する制度に変更
平成6年度	・対象年齢を <u>72歳以上</u> に引き下げ ・市バス無料乗車証、神姫バス回数券、山陽電車回数券、 <u>JR回数券</u> のいずれか1種類を選択する制度に変更
平成7年度	・対象年齢を <u>71歳以上</u> に引き下げ
平成8年度	・対象年齢を <u>70歳以上</u> に引き下げ

時期	変更内容
平成17年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象者が、①か②のいずれかを選択する制度に変更</li> <li>①市バス無料乗車証</li> <li>②無料乗車券（次の中から<u>8,000円分を1種類のみ</u>選択。神姫バス回数券、<u>山陽電車カード、JRカード、タクシー券</u>）</li> </ul>
平成18年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象者が、①か②のいずれかを選択する制度に変更</li> <li>①<u>バス共通優待乗車証</u>（市バス、<u>神姫バス、山陽バス、コミュニティバス</u>共通。<u>1乗車あたりの自己負担額は、路線バス100円、コミュニティバス50円</u>）</li> <li>②無料乗車券（次の中から<u>4,000円分を単位に2種類まで</u>選択。<u>市バスカード、神姫バス回数券、山陽バスカード、コミュニティバス回数券</u>、山陽電車カード、JRカード、タクシー券）</li> </ul>
平成19年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象者が①か②のいずれかを選択する制度に変更</li> <li>①バス共通優待乗車証（内容の変更なし）</li> <li>②無料乗車券（次の中から<u>3,000円分と2,000円分を各1種類ずつ</u>選択。市バスカード、神姫バス回数券、山陽バスカード、コミュニティバス回数券、山陽電車カード、JRカード、タクシー券）</li> </ul>
平成21年度	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>選択制を廃止し、バス共通優待乗車証</u>（内容の変更なし）と<u>タクシー券（2,100円分）</u>をセットで対象者に郵送。</li> </ul>

## (2)経費の負担(内訳)

### ①バス優待乗車証

(負担の内訳)

	乗車1回につき		利用者	市	バス事業者
市内路線バス	200円	⇒	100円	50円	50円
コミュニティバス	100円	⇒	50円	25円	25円

### ②寿タクシー券

(負担の内訳)

		利用者	市	タクシー事業者
タクシー券	⇒	負担なし	2,000円	100円
2,100円				

※寿タクシー券は、利用金額に応じて事業者を支払う。

## (3)市負担額(実績)の推移

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
バス優待乗車証	5,206万円	8,347万円	7,553万円	7,553万円	7,553万円
寿タクシー券	1,851万円	1,936万円	4,627万円	5,007万円	5,230万円
バスカード・回数券	1,922万円	1,903万円	—	—	—
JR・山陽電車カード	7,290万円	8,610万円	—	—	—
計	1億6,269万円	2億796万円	1億2,180万円	1億2,560万円	1億2,793万円

※現行制度では、対象者1,000人の変動で、市負担額は約282万円変動する。

#### (4)利用状況の推移

※現行の制度となった平成21年度以降

##### ①バス優待寿乗車証

	H21年度	H22年度	H23年度
交付人数	33,189人	34,327人	35,751人
一人当たり年間利用回数	46回	44回	42回

※一人当たり年間利用回数＝市負担総額÷50円÷交付人数

##### ②寿タクシー券

	H21年度	H22年度	H23年度
交付者数	36,056人	37,464人	39,169人
交付枚数	144,224枚	149,856枚	156,676枚
利用枚数	92,533枚	100,143枚	104,617枚
利用率	64.2%	66.8%	66.8%

#### (5)近隣市町の状況

##### ①バス優待寿乗車証

	明石市	神戸市	稲美町	播磨町	加古川市	高砂市	姫路市
対象年齢	70歳以上	70歳以上	65歳以上	制度なし	制度なし	制度なし	75歳以上
利用者負担額	100円	100円	なし※				なし

##### ②寿タクシー券

	明石市	神戸市	稲美町	播磨町	加古川市	高砂市	姫路市
対象年齢	70歳以上	制度なし	65歳以上	制度なし	制度なし	制度なし	制度なし
利用者負担額	なし		なし※				

※稲美町はバス回数券（1,320円分）とタクシー券（2,520円分）のいずれかの選択制（所得制限あり）

## 2 高齢者のふれあい入浴への助成 <2,750万円>

### 概要

高齢者の健康増進や外出の促進、近隣とのふれあいを図るため、65歳以上の市民を対象に、市内の公衆浴場等の無料・割引開放を実施する。

- ①高年手帳の提示により、毎週木曜日に無料入浴（龍の湯のみ300円割引）（実施場所：明石市内の8浴場）
- ②利用件数に応じて、市から公衆浴場等に一定額を支払う。

	H21年度	H22年度	H23年度
年間延べ利用者・	55,511人	76,695人	78,786人
市負担額（実績）	1,928万円	2,649万円	2,712万円

### 内容

#### (1)制度内容（昭和54年度創設）

- ①対象者：65歳以上の市民（65歳の誕生日の前月に送付する高年手帳の提示により利用できる）
- ②事業内容
  - ・事業実施場所：明石公衆浴場組合加盟浴場7浴場（東湯、三光湯、明月湯、大福湯、恵美寿湯、小久保湯、扇湯）及び龍の湯
  - ・精算方法：無料（割引）入浴件数に応じ、各公衆浴場に市から一定額を支払う。
- ③制度の変遷

時期	変更内容
昭和54年度	・70歳以上のひとり暮らし高齢者（所得制限あり）を対象とした「入浴券交付事業（年間50枚の無料入浴券を配布）」を開始
平成19年度	・無料入浴券の配布枚数を年間35枚に変更
平成21年度	・入浴券交付事業に代えて、現行の「高齢者ふれあい入浴事業」を6月から開始（平成22年度以降は通年実施）

#### (2)経費の負担(内訳)

(負担の内訳)

	入浴1回につき		利用者	市	事業者
7浴場	410円	⇒	負担なし	360円	50円
龍の湯	550円	⇒	250円	300円	なし

#### (3)市負担額(実績)の推移

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
1,725万円	1,670万円	1,928万円	2,649万円	2,712万円

※現行制度では、対象者1,000人の変動で、市負担額は約43万円変動する。

#### (4)近隣市町の状況

	明石市	神戸市	稲美町	播磨町	加古川市	高砂市	姫路市
対象年齢	65歳以上	介助者を伴って入浴する者			70歳以上（一人暮らし）		65歳以上（一人暮らし）
利用者負担額	なし（龍の湯250円）	本人は通常料金（410円）。介助者は無料。	制度なし	制度なし	100円	制度なし	なし

### 3 敬老金の支給 <2,296万円>

#### 概要

敬老の意を表すとともに、高齢者の見守りなどの効果を目的に、民生児童委員が対象となる高齢者を訪問し、敬老金を手渡す。

対象年齢	1人当たり支給金	実績		
		H21年度	H22年度	H23年度
77歳	5,000円	2,407人	2,466人	2,402人
88歳	10,000円	653人	744人	768人
100歳	30,000円	33人	23人	30人
計		3,093人	3,233人	3,200人
市負担額(実績)		1,956万円	2,046万円	2,059万円

#### 内容

##### (1)制度内容 (昭和43年度創設)

①対象者：7月31日現在市内在住で、9月15日に77歳、88歳、100歳の市民

②事業内容

明石市民生児童委員協議会に事務委託を行い、民生児童委員が9月の敬老月間に対象者宅を訪問し、敬老金を手渡す。

③制度の変遷

時期	変更内容
昭和43年度	・敬老金の支給を開始 77歳…10,000円、88歳…10,000円、99歳以上…30,000円
平成19年度	・77歳の市民への支給額を5,000円に変更 ・「99歳以上の市民」から「100歳の市民」に変更

##### (2)近隣市町の状況

		明石市	神戸市	稲美町	播磨町	加古川市	高砂市	姫路市
対象年齢	77歳	5,000円	—	制度なし	欄外に記載	制度なし (90歳、100歳に記念品)	5,000円	10,000円
	88歳	10,000円	10,000円				—	20,000円
	100歳	30,000円	30,000円				100歳以上 15,000円	—

※播磨町：80歳…20,000円、85歳…30,000円、90歳…50,000円、95歳…70,000円  
100歳…100,000円、101歳以上…50,000円



< >内の数字は平成 24 年度の市負担額(予算)

## 4 敬老会の開催 <1,865万円>

### 概要

敬老の意を表し長寿を祝福するため、自治会等を中心とする各小学校区の実行委員会に委託して敬老会を開催する。

①対象者：75歳以上の市民

②委託単価：対象者1人につき500円、小学校区1校区につき10万円

	H21年度	H22年度	H23年度
対象者数	26,028人	27,023人	28,437人
参加者数	5,514人	6,139人	5,935人
市負担額(実績)	1,594万円	1,652万円	1,720万円

### 内容

#### (1)制度内容 (昭和27年度創設)

①対象者：6月30日現在市内在住で、9月15日に75歳以上の市民

②催しの例：幼稚園園児による合唱、小学生による和太鼓演奏、お楽しみ抽選会 など

③制度の変遷

時期	変更内容
昭和27年度	・敬老会事業を開始
平成16年度	・対象年齢を「70歳以上」から「75歳以上」に変更
平成19年度	・対象者1人あたりの委託料を700円から500円に減額

#### (2)市負担額(実績)の推移

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
1,480万円	1,541万円	1,594万円	1,652万円	1,720万円

#### (3)参加者数

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
対象者数	23,589人	24,836人	26,028人	27,023人	28,437人
参加者数	4,850人	4,880人	5,514人	6,139人	5,935人

#### (4)敬老会の運営状況

※28小学校区に旧松が丘南小学校区を加えた全29区の状況

運営状況	小学校区単位で敬老会を開催	敬老会は開催せず 記念品を配布	自治会単位等で敬老会を開催
小学校区等の数	18	4	7

#### (5)近隣市町の状況

	明石市	神戸市	稲美町	播磨町	加古川市	高砂市	姫路市
敬老会の実施	有	なし	有	なし	有	なし	なし
対象年齢	75歳以上		75歳以上		70歳以上		

## 5 高年クラブへの支援 <1,169万円>

### 概要

高齢者地域ボランティアや高齢者地域スポーツの推進等を図るため、高年クラブに事業の委託や助成を行い小学校区全体での高年クラブ活動を促進する。

①高齢者地域活動推進事業

高齢者の地域活動の推進を高年クラブ連合会に委託等（委託料は、年間260万円）

②老人クラブ助成事業

適合クラブ(30人以上)：年96,000円（国・県・市がそれぞれ1／3ずつ負担）

小規模クラブ(25人以上30人未満)：年24,000円（市が全額負担）

③高齢者スポーツ大会：小学校区ごとにチーム編成し、春・秋2回開催

（運営は高年クラブ連合会に委託。委託料は年間120万円）

	H21年度	H22年度	H23年度
高年クラブ会員数	12,056人	11,735人	11,471人
スポーツ大会参加者数	1,709人	2,062人	2,127人

### 内容

#### (1)制度内容（昭和38年度創設）

①対象：概ね60歳以上の市民25人以上で構成される高年クラブ及び市内の高年クラブで組織される明石市高年クラブ連合会

②活動例

- ・ 高齢者地域活動推進事業

地元小学校での児童との交流活動、スポーツ大会、研修会、地域での清掃活動 等

- ・ 老人クラブ助成事業

スポーツ活動、研修会の実施、児童との交流活動、友愛訪問 等

- ・ 高齢者スポーツ大会

グラウンドゴルフ、ペタンク、輪投げ、ターゲットバードゴルフ、ゲートボール、ローンボウルの6種目の大会を年2回開催

③制度の変遷

時期	変更内容
昭和38年度	・ 老人クラブ助成事業を開始
平成19年度	・ 老人クラブ助成事業の適合クラブへの補助金額を年額117,600円から106,560円に引き下げ
平成20年度	・ 老人クラブ助成事業の適合クラブへの補助金額を年額96,000円に引き下げ
平成22年度	・ 老人クラブ助成事業の適合クラブの人数を50人以上から30人以上に変更

**(2)市負担額(実績)の推移**

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
1,227万円	1,107万円	1,103万円	1,102万円	1,113万円

**(3)会員数及び会員1人当たり市負担額**

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
適合クラブ数	213	209	201	206	205
適合クラブの会員数	12,821人	12,623人	12,056人	11,735人	11,471人
小規模クラブ数	14	15	17	10	7
小規模クラブの会員数	381人	407人	477人	223人	169人
会員1人当たり市の負担額	929円	850円	880円	922円	956円

※会員1人当たり市の負担額 = 事業費総額 ÷ 助成対象クラブの会員数

※適合クラブは会員数30人以上（平成21年度までは50人以上）

※小規模クラブは会員数25人以上30人未満（平成21年度までは25人以上50人未満）

**(4)近隣市町の状況**

	明石市	神戸市	稲美町	播磨町	加古川市	高砂市	姫路市
高年クラブへの助成の有無	有	有	有	有	有	有	有

## 6 高齢者のはり・灸・マッサージ施術への助成 <1,032万円>

### 概要

高齢者の健康を保持し、外出を促すため、はり・灸・マッサージ施術助成券を希望する70歳以上の市民に交付する。助成券は明石市と契約している施術所（平成24年6月現在115箇所）で使用できる。

助成額：1枚1,000円の助成券を年間4枚配布

	H21年度	H22年度	H23年度
交付人数	4,211人	3,950人	3,947人
利用枚数	11,563枚	8,783枚	8,717枚
市負担額（実績）	1,156万円	878万円	872万円

### 内容

#### (1)制度内容（平成2年度創設）

①対象者：1月1日現在市内在住で、3月31日に70歳以上の市民

②制度の変遷

時期	変更内容
平成2年度	高齢者のはり・灸・マッサージ施術への助成事業を開始
平成22年度	助成券の交付枚数を5枚から4枚に変更

#### (2)市負担額(実績)の推移

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
1,217万円	1,203万円	1,156万円	878万円	872万円

#### (3)利用状況の推移

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
対象者数①	37,377人	39,345人	40,557人	41,836人	43,603人
交付者数②	4,337人	4,312人	4,211人	3,950人	3,947人
交付率②÷①	11.6%	11.0%	10.4%	9.4%	9.1%
交付枚数③	21,685枚	21,560枚	21,055枚	15,800枚	15,788枚
利用枚数④	12,168枚	12,025枚	11,563枚	8,783枚	8,717枚
利用率④÷③	56.1%	55.8%	54.9%	55.6%	55.2%

※平成22年度から交付枚数を5枚から4枚に変更

#### (4)近隣市町の状況

	明石市	神戸市	稲美町	播磨町	加古川市	高砂市	姫路市
対象年齢	70歳以上	70歳以上	65歳以上	制度なし	65歳以上	70歳以上	70歳以上
市負担額	4,000円	3,000円	12,000円		6,000円	12,000円	3,000円

## 7 高齢者肺炎球菌予防接種への助成 <664万円>

### 概要

高齢者の肺炎の原因で最も多い「肺炎球菌」という細菌に対する予防接種で、肺炎による長期療養に伴う身体活動の低下や認知症を防ぐため、70歳以上の市民に対し3,500円の助成を行う。

	H21年度	H22年度	H23年度
対象者数	40,030人	41,308人	43,030人
接種者数	2,992人	1,762人	2,642人
市負担額(実績)	1,047万円	617万円	924万円

※平成21年度は、10月1日から事業開始

※対象者は接種済者を含む

※助成は生涯1回のみ。接種料金(7,000円~8,000円程度)との差額は自己負担

### 内容

#### (1)制度内容 (平成21年度創設)

##### ①対象者

市内在住で、70歳以上の市民(誕生日以降に申請に基づき助成券を交付。)

##### ②事業内容

実施方法：市内指定医療機関での個別接種

接種方法：肺炎球菌予防ワクチンを1回接種

助成内容：接種料金のうち3,500円を助成(差額は個人負担)

助成回数：生涯に1回のみ。

事業開始日：平成21年10月1日

#### (2)経費の負担(内訳)

接種料金	(負担の内訳)	
	市	利用者
7,000~8,000円程度	3,500円	接種料金との差額

#### (3)利用状況の推移

	H21年度	H22年度	H23年度
対象者数	40,030人	41,308人	43,030人
接種者数	2,992人	1,762人	2,642人
利用率	7.5%	4.3%	6.1%

※対象者には接種済者を含む

#### (4)近隣市町の状況

	明石市	神戸市	稲美町	播磨町	加古川市	高砂市	姫路市
対象年齢	70歳以上	70歳以上	制度なし	制度なし	制度なし	制度なし	制度なし
市負担額	3,500円	4,000円	制度なし	制度なし	制度なし	制度なし	制度なし

(参考データ1)

■ 今後の年齢別人口シミュレーション ■

◆ 年齢別人口

■ 年齢以上人口(累計)

(単位:人)

65歳以上対象の制度

2 ふれあい入浴

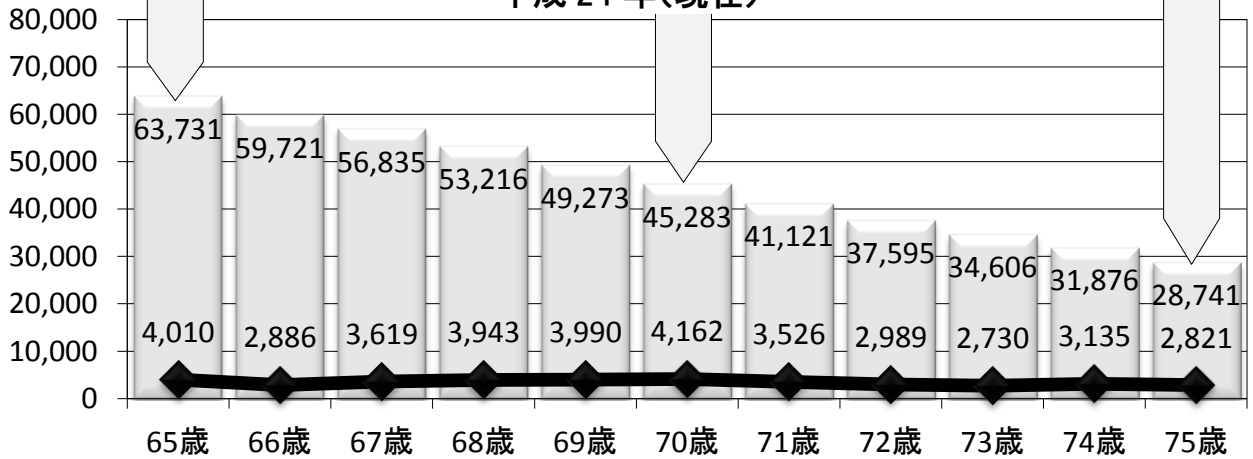
70歳以上対象の制度

1 優待乗車証  
6 はり・灸・マッサージ  
7 肺炎球菌予防接種

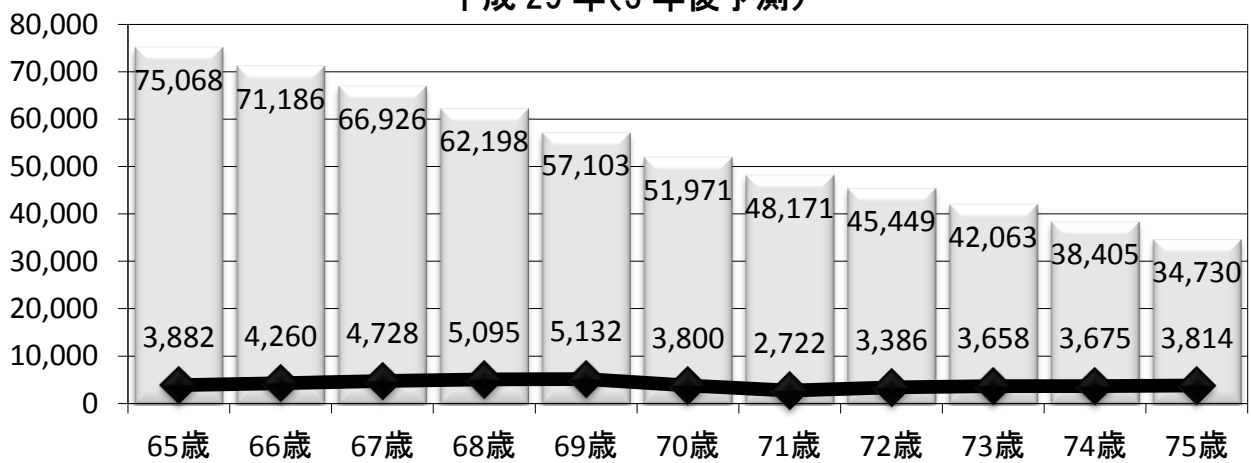
75歳以上対象の制度

4 敬老会

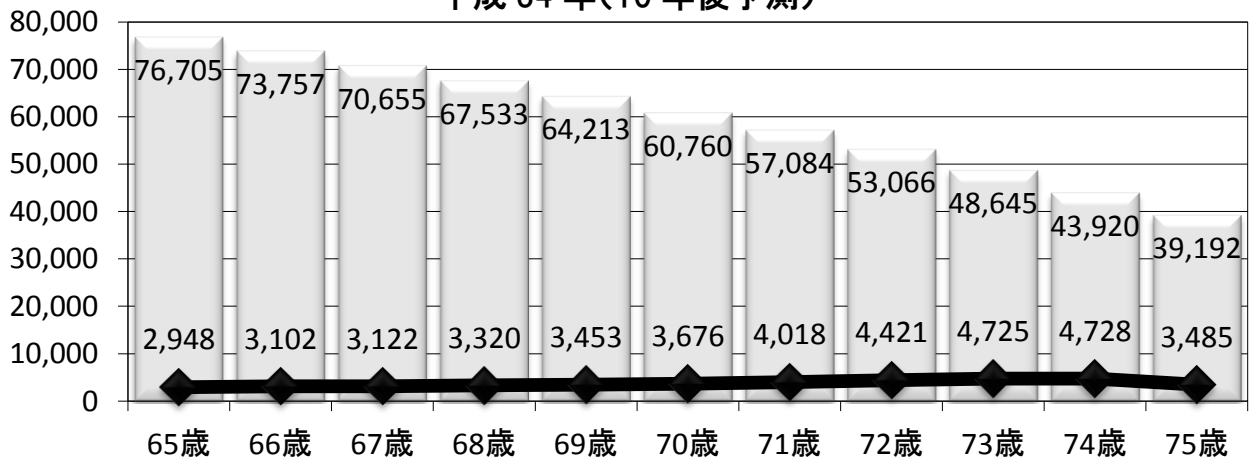
平成24年(現在)



平成29年(5年後予測)



平成34年(10年後予測)



(参考データ2)

■ 各制度の近隣市町の状況一覧 ■

1 高齢者への優待乗車証の交付 (バス優待乗車証)

	明石市	神戸市	稲美町	播磨町	加古川市	高砂市	姫路市
対象年齢	70歳以上	70歳以上	65歳以上	制度なし	制度なし	制度なし	75歳以上
利用者負担額	100円	100円	なし※				なし

1 高齢者への優待乗車証の交付 (寿タクシー券)

	明石市	神戸市	稲美町	播磨町	加古川市	高砂市	姫路市
対象年齢	70歳以上	制度なし	65歳以上	制度なし	制度なし	制度なし	制度なし
利用者負担額	なし		なし※				

※稲美町はバス回数券(1,320円分)とタクシー券(2,520円分)のいずれかの選択制(所得制限あり)

2 高齢者のふれあい入浴への助成

	明石市	神戸市	稲美町	播磨町	加古川市	高砂市	姫路市
対象年齢	65歳以上	介助者を伴って入浴する者	制度なし	制度なし	70歳以上 (一人暮らし)	制度なし	65歳以上 (一人暮らし)
利用者負担額	なし (龍の湯 250円)	本人は通常 料金(410 円)。介助者 は無料。			100円		なし

3 敬老金の支給

	明石市	神戸市	稲美町	播磨町	加古川市	高砂市	姫路市
対象年齢	77歳	5,000円	—	制度なし	欄外に 記載 (90歳、100 歳に記念品)	5,000円	10,000円
	88歳	10,000円	10,000円			—	20,000円
	100歳	30,000円	30,000円			100歳以上 15,000円	—

※播磨町：80歳…20,000円、85歳…30,000円、90歳…50,000円、95歳…70,000円  
100歳…100,000円、101歳以上…50,000円

4 敬老会の開催

	明石市	神戸市	稲美町	播磨町	加古川市	高砂市	姫路市
敬老会の実施	有	なし	有	なし	有	なし	なし
対象年齢	75歳以上		75歳以上		70歳以上		

5 高年クラブへの支援

	明石市	神戸市	稲美町	播磨町	加古川市	高砂市	姫路市
高年クラブへの助成の有無	有	有	有	有	有	有	有

6 高齢者のはり・灸・マッサージ施術への助成

	明石市	神戸市	稲美町	播磨町	加古川市	高砂市	姫路市
対象年齢	70歳以上	70歳以上	65歳以上	制度なし	65歳以上	70歳以上	70歳以上
市負担額	4,000円	3,000円	12,000円		6,000円	12,000円	3,000円

7 高齢者肺炎球菌予防接種への助成

	明石市	神戸市	稲美町	播磨町	加古川市	高砂市	姫路市
対象年齢	70歳以上	70歳以上	制度なし	制度なし	制度なし	制度なし	制度なし
市負担額	3,500円	4,000円					